

(仮称) 駅北子育て支援複合施設整備事業

審査基準書

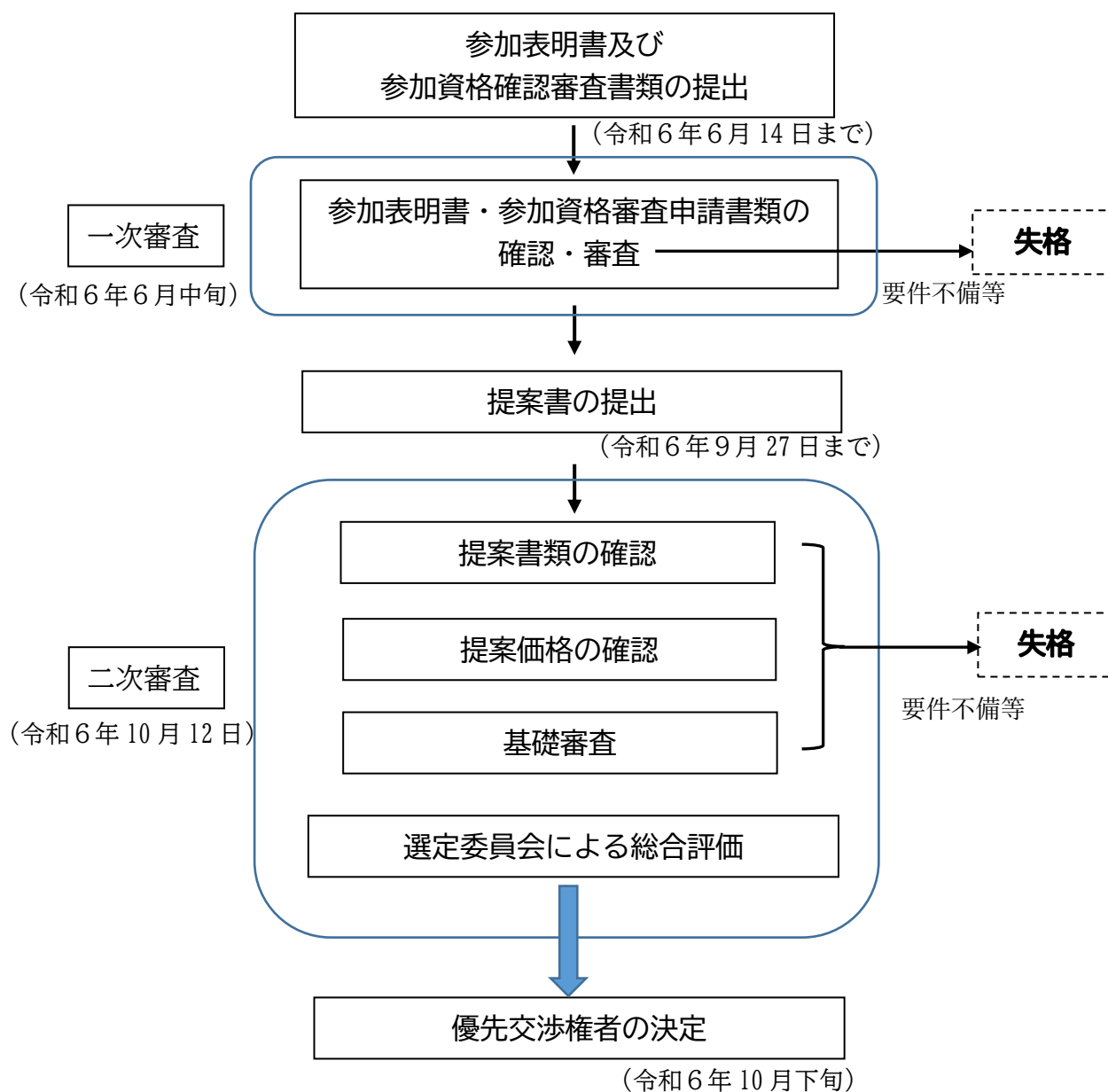
糸 魚 川 市

(仮称) 駅北子育て支援複合施設整備事業 審査基準

第1 優先交渉権者の選定方法

1 選定の流れ

事業者の選定に当たっては、公募型プロポーザル方式に基づき、選定委員会により、提案内容・提案価格・ヒアリング等の総合的な評価を行って決定する。



2 審査手順

(1) 一次審査

市は、応募者から提出される参加表明書及び資格審査申請書類を基に、応募者が満たすべき参加資格要件の具備を確認し、結果を代表企業に通知する。参加資格を満たさない場合は失格となる。

(2) 二次審査

ア 提出書類の確認

市は、応募者に求めた提案書類が揃っていることを確認する。

イ 提案価格の確認

市は、価格提案書に記載された提案価格が提案価格上限を超えていないことを確認する。

ウ 基礎審査

市は、提案書類に記載された内容が、次の基礎審査項目を満たしていることを確認する。

- ・ 要求水準書の要求水準に未達のないこと
- ・ 募集要項等に示す提出書類の作成条件に相違のないこと

エ 提案審査

提案審査は、選定委員会が、提出書類並びにプレゼンテーション及びヒアリングにより評価を行う。なお、提案審査のプレゼンテーションは公開により行うことを予定している。

選定委員会による評価は、提案評価及び価格評価により行う。

オ 最優秀提案の選定

選定委員会は、採点基準に基づき選定委員ごとに提案評価点及び価格評価点の合計 1,000 点満点で採点し、合計点数が最も高い応募者を優先交渉権者として選定するものとする。

合計評価点 1,000 点 = 提案評価点 800 点 + 価格評価点 200 点

ただし、各委員の採点による提案評価点の平均点が、480 点（配点の 6 割）未満の場合は選定しないものとする。また、上記平均点が 480 点以上であっても、著しく点数の劣る評価項目がある場合は、選定委員会の協議により選定しない場合がある。

(3) 優先交渉権者の決定

市は、選定委員会の選定結果に基づき、優先交渉権者及び次点交渉権者の決定を行い、その結果を市ホームページ等で公表する。

第2 提案審査における点数化方法

1 提案審査の配点

提案審査は、提案書類の確認及び提案価格の確認の後、提案及び価格審査の総合評価により実施することとし、その配点及び点数化方法については、下記のとおり設定する。

項目		配点
提案評価点		800
1 事業実施	本事業への取組方針	25
	事業の実施体制	25
2 施設整備	設計コンセプト	20
	配置計画・動線計画、施設デザイン	20
	安全性への配慮	30
	地域や環境への配慮	20
	屋内遊戯場	30
	子育て支援センター	20
	一時預かり保育室	20
	図書・学習スペース	30
	イベント・ギャラリースペース	30
	施設機能を補完するスペース	30
	その他スペース	20
	施工計画	10
3 維持管理	取組方針	20
	実施体制	20
	維持管理業務	15
	施設の長寿命化・修繕	15
4 運営・開業準備	取組方針	20
	実施体制、人材確保及び育成体制	20
	屋内遊戯場	30
	一時預かり保育室	20
	図書・学習スペース	30
	イベント・ギャラリースペース	30
	施設機能を補完するスペース	20
	自主事業	20
	開業準備	10
	周辺連携	30
5 附帯事業	販売スペースの運営	20

項目		配点
6 事業計画	事業計画の確実性、安定性	25
	リスク管理	25
7 地域貢献	地域経済への貢献	100
価格評価点		200
合計		1,000

2 審査の点数化

(1) 審査の評価項目及び配点

審査の評価項目及び配点は、別紙「審査における評価項目及び配点」による。

(2) 提案評価の採点

提案評価の採点は、項目ごとに次の5段階評価に基づいて評価を行う。

評価	判断基準	点数化方法
A	特に優れている	各項目の配点×1.00
B	優れている	各項目の配点×0.80
C	要求水準と同程度	各項目の配点×0.60
D	やや劣っている	各項目の配点×0.40
E	劣っている	各項目の配点×0.00

(3) 価格評価の採点

価格評価については、以下の方法で点数化するものとし、最低提案価格には、満点の200点を付与する。

$$\text{価格評価点} = 200 \text{ 点 (満点の点数)} \times (\text{最低提案価格} / \text{提案価格})$$

別紙 審査における評価項目及び配点

項目		内容	配点
企画提案			800
1	事業実施		50
	本事業への取組方針	・本事業の目的を理解した方針となっているか。 ・DBOで一体的に実施する意義を踏まえた方針であるか。	25
	事業の実施体制	・代表企業、構成企業の役割が明確で、効果的・効率的なマネジメント体制であるか。 ・事業期間を通じて事業を円滑に遂行するための体制であるか。	25
2	施設整備		280
	設計コンセプト	・事業の基本理念を実現するための優れた提案であるか。	20
	配置計画・動線計画、施設デザイン	・利用者、スタッフともに利用のしやすさ、安全性に配慮した動線・アプローチであるか。 ・施設の整備方針や特性を踏まえた魅力あるデザインであるか。	20
	安全性への配慮	・あらゆる世代の利用者にとって安心・安全で使いやすいユニバーサルデザインを取り入れた提案があるか。 ・津波避難を含めた災害時における防災対策や安全性について、優れた提案があるか。 ・諸室の仕様やサイン計画等について、利用者の様々な特性を踏まえた提案があるか。	30
	地域や環境への配慮	・木材利用に関して、具体的な木材利用、地場産材利用の提案があるか。 ・地域特性を踏まえたエネルギーの効率的利用、環境負荷低減の工夫や維持管理費低減に資する提案があるか。 ・内外装の素材や仕上げについて、耐久性やメンテナンス性に優れた提案があるか。	20
	屋内遊戯場	・年齢の異なる子どもが、それぞれ安全に遊べる工夫の提案があるか。 ・子どもの好奇心や創造力を育む工夫や、自発的な遊びを誘発する仕掛け等の提案があるか。 ・障がいの有無等に関わらず、様々な利用者が身体を動かし遊べる提案があるか。 ・保護者にとって見守りをしやすい提案があるか。 ・目安となる施設規模が確保されているか。	30

項目		内容	配点
	子育て支援センター	・屋内遊戯場との区分について、利用する側、運営する側にとって利用しやすい提案があるか。 ・目安となる施設規模が確保されているか。	20
	一時預かり保育室	・安全で保育しやすい環境となる提案があるか。 ・目安となる施設規模が確保されているか。	20
	図書・学習スペース	・開放的で、様々な世代がリラックスして利用しやすい工夫の提案があるか。 ・目安となる施設規模が確保されているか。	30
	イベント・ギャラリースペース	・活動やイベントがある場合とない場合の両方に対応したスムーズな仕組みの提案があるか。 ・目安となる施設規模が確保されているか。	30
	施設機能を補完するスペース	・見守りスペースについて、安心して子どもを見守ることができ、保護者もリラックスできる提案があるか。 ・飲食スペースについて、誰でも利用しやすくなる提案があるか。 ・会議スペースについて、開放利用と専用利用の利便性に優れた提案があるか。	30
	その他スペース	・荒天時にも、子ども連れが駐車場から施設内に不都合なく入れる提案があるか。 ・トイレについて、子ども連れへの配慮のほか、あらゆる世代が利用しやすい設備、配置場所の提案があるか。	20
	施工計画	・施工手順、スケジュール遵守、工期の短縮などの提案があるか。 ・近隣住民や通行者等への配慮や安全確保についての提案があるか。	10
3	維持管理業務		70
	取組方針	・施設の性能、水準を良好に保つための提案があるか。 ・ライフサイクルコストの縮減、予防保全についての効果的な提案があるか。	20
	実施体制	・運營業務とも連携し、維持管理業務を効率的、効果的に行う業務体制となっているか。 ・緊急時の措置や体制に関する実効性の高い提案があるか。	20
	維持管理業務	・施設の維持管理業務に関して、本施設の特徴、仕様を踏まえた効果的な実施方法の提案があるか。	15
	施設の長寿命化・修繕	・本施設の要求水準を維持していくための保守点検、修繕等についての提案があるか。	15

項目		内容	配点
4	運営・開業準備業務		230
	取組方針	・本施設の各機能特性を理解し、複合施設としての魅力向上に資する提案があるか。 ・子育てに関する機能の充実に関する提案があるか。 ・サービス水準の維持・向上を図るための効果的な提案があるか。 ・長期にわたる事業として、利用者ニーズの把握や社会要請を柔軟に反映する提案があるか。	20
	実施体制、人材確保及び育成体制	・適切で安全に運営するための実施体制、人員配置となる提案があるか。 ・適切な人材確保、人材育成・研修、雇用条件等についての効果的な提案があるか。	20
	屋内遊戯場	・安全対策、事故防止、防犯・防災対策、苦情対応について提案があるか。 ・障がい児を含む、乳幼児から小学生までの子どもとその保護者の居場所や交流に資する提案があるか。 ・子どもを主体としたイベントや多世代交流を創出するイベント等の提案があるか。	30
	一時預かり保育室	・利用者の安心感を高める保育となる提案があるか。	20
	図書・学習スペース	・誰もが気軽に本に親しみ、リラックスして利用しやすい空間となる運営の提案があるか。 ・新しい図書館の可能性を探る提案はあるか。	30
	イベント・ギャラリースペース	・様々な人が立ち寄りやすくなる効果的な提案があるか。	30
	施設機能を補完するスペース	・施設の魅力を向上させる利活用に関する提案があるか。	20
	自主事業	・複合施設として、子育て支援、市民サービス向上に効果的な事業の提案があるか。 ・多世代が関わりを持てる事業の提案があるか。	20
	開業準備	・開業後の円滑な運営に向けた提案があるか。	10
	周辺連携	・周辺施設と連携した街中の人の回遊に資する提案があるか。	30
5	附帯事業		20
	販売スペースの運営	・施設利用者の利便性向上に効果的な提案があるか。	20

項目		内容	配点
6	事業計画		50
	事業計画の確実性、安定性	・ 事業期間を通じて確実に安定的に事業を行うことができる収支計画の提案があるか。	25
	リスク管理	・ 本事業で想定されるリスクを認識し、効果的な対応が提案されているか。	25
7	地域貢献		100
	地域経済への貢献	・ 地元の企業、資材及び人材（業務従事者を含む。）の活用に関する具体的な提案があるか。 ・ 地域社会及び地域経済への貢献についての提案があるか。 ・ 地元企業の育成等についての提案があるか。	100
価格提案			200